

1. レイヤーイメージ表示画面を追加しました。
  - 合成画面で、レイヤー別にイメージ表示画面を追加しました。
2. はさみ機能をバージョンアップしました。
  - 領域を指定して、領域内にある線の交点をすべて切断する機能です。
  - 領域を選んで、選んだ領域の交点を切断する機能です。  
選んだ領域を切って、他の場所へ移動することができます。
3. プラニメータをバージョンアップしました。
  - 測った領域を塗りつぶす機能を追加しました。
4. 測量機能をバージョンアップしました。（合成画面と測量画面）
  - 3点を選んで、いろいろな角度を計測する機能【コンパス機能】を追加しました。
  - 画面上で座標マークを選んで、マークを変更できるようにしました。
  - 曲線の連続計算で、折れ線（ $R=0$ ）を計算できるようにしました。
  - 座標名に日本語が使えるようにし、文字数を2倍にしました。
5. 図面ファイル名に日本語が使えるようにしました。
  - 図面を開いたり保存するとき、図面ファイル名を日本語で書けるようにしました。
  - データコピー機能を改善して、より簡単に現場データをバックアップ、コピーできます。
6. 平成20年度の電子納品（CALS）に対応しました。
  - 平成20年度 CAD 製図基準に対応しました。
  - CALS レベル3（図面要素のデータベース化）に対応しました。
  - 読み込んだCALS図面に自動でCALSレイヤーを設定するように変更しました。
  - レイヤーに複数の文字の大きさを設定できるように対応しました。
  - レイヤーに複数の線種を設定できるように対応しました。
  - レイヤーの設定画面を統一し、印刷時の色もレイヤー別に設定できるようにしました。
7. 縦断図の断面（断面作図で）を追加しました。
  - 河川の縦断図、上下水道の縦断図作図を追加しました。
8. 図面の表示スピードを大幅にアップしました。（2010年1月追加）
  - 文字の高さが10ドットに満たない時には、文字を四角で表示することでスピードアップ。
9. CALS エクスプローラを平成20年度 CAD 製図に対応中です。

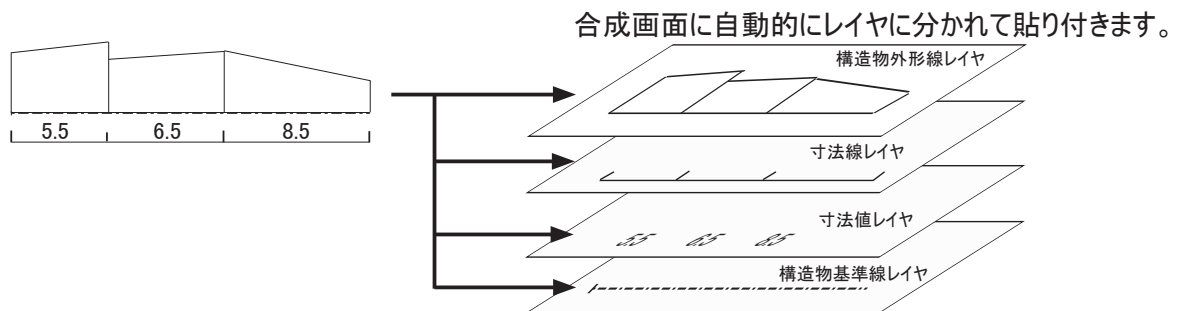
ガリレオバージョン7からバージョン8へは、以下の項目を機能アップしました。

## 1. 電子納品のための図面チェック機能

CALS に対応していない図面を検査して、レイヤーを自動変換する機能が追加されました。

## 2. 展開図や構造物を貼り付けるときに自動で CALS に対応したレイヤーに振り分ける機能

例えば、ガリレオで作図した展開図を合成画面に貼り付けるとき



## 3. 測量機能で、任意の点から路線のセンタ座標を求めることができるようになりました。

## 4. 測量機能で、座標を回転させて見ることもできるようになりました。

## 5. 測量画面で、座標計算のとき、マウスで画面上の座標が取り込めます。

## 6. 画面表示をスピードアップしました。(特に画面移動を)

## 7. 断面作図画面で、表入力しながら、画面を移動したり、拡大・縮小したりできます。

## 8. 測量画面の路線の幅杭計算で、センターから片側最大10測点(合計20測点)まで拡張しました。

## 9. 測量画面に座標読み取り機能を追加しました。

## 10. 測量機能の路線の連続計算機能にセンター杭のブレーキポイント設定を追加しました。

## 11. AutoCAD データ (DWG 形式) の最新データに対応 AutoCAD2008 最新バージョンのデータ読込に対応しました。